

運用報告書 (全体版)

第48期<決算日2022年9月20日>

グローバル・ボンド・ポート

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	1998年12月10日から無期限です。	
運用方針	信託財産の成長をはかることを目標に運用を行います。	
主要投資対象	グローバル・ボンド・ポート (Cコース) (Dコース)	グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	グローバル・ボンド・ポート (Cコース)	「F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ベース、為替ヘッジあり)」を運用にあたってのベンチマークとし、インデックスを上回る成果の実現をめざします。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減をはかるため、原則として全て対円での為替ヘッジを行います。
	グローバル・ボンド・ポート (Dコース)	「F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ベース、為替ヘッジなし)」を運用にあたってのベンチマークとし、インデックスを上回る成果の実現をめざします。実質外貨建資産については、対円での為替ヘッジは行いません。
組入制限	株式への投資は、転換社債の転換、新株予約権の行使および社債権者割当等により取得するものに限り、外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日 (原則として3月20日および9月20日。休業日の場合は翌営業日。) に、原則として利子・配当等収益の中から分配する方針です。売買益 (評価益を含みます。) 等は、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配する方針です。分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。	

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

グローバル・ボンド・ポート (Cコース)
グローバル・ボンド・ポート (Dコース)

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル・ボンド・ポート」は、2022年9月20日に第48期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

Cコース（為替ヘッジあり）

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			F T S E 世界国債 インデックス		債券組入 比率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配 金	期 騰 落 中 率	(除く日本、 円ベース、 為替ヘッジあり) (ベンチマーク)	期 騰 落 中 率			
44期 (2020年9月23日)	円 11,039	円 50	% 2.9	ポイント 429.56	% 3.2	% 96.6	% -	百万円 8,660
45期 (2021年3月22日)	10,433	50	△5.0	413.47	△3.7	100.4	-	8,497
46期 (2021年9月21日)	10,602	50	2.1	421.48	1.9	97.8	-	9,490
47期 (2022年3月22日)	9,682	50	△8.2	393.67	△6.6	99.8	-	9,254
48期 (2022年9月20日)	8,692	50	△9.7	358.35	△9.0	102.9	-	8,715

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注4) ベンチマークはF T S E世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジあり）です（以下同じ）。

(注5) F T S E世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します（以下同じ）。

(注6) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		F T S E世界国債インデックス (除く日本、 円ベース、 為替ヘッジあり) (ベンチマーク)		債券組入 比 率	債券先物 比 率
	円	騰 落 率 %	ポイ ン ト	騰 落 率 %		
(期 首) 2022 年 3 月 22 日	9,682	—	393.67	—	99.8	—
3 月 末	9,609	△0.8	390.67	△0.8	101.8	—
4 月 末	9,363	△3.3	382.14	△2.9	96.4	—
5 月 末	9,275	△4.2	378.13	△3.9	97.1	—
6 月 末	9,005	△7.0	367.91	△6.5	98.3	—
7 月 末	9,298	△4.0	378.91	△3.7	95.5	—
8 月 末	8,956	△7.5	365.57	△7.1	98.7	—
(期 末) 2022 年 9 月 20 日	8,742	△9.7	358.35	△9.0	102.9	—

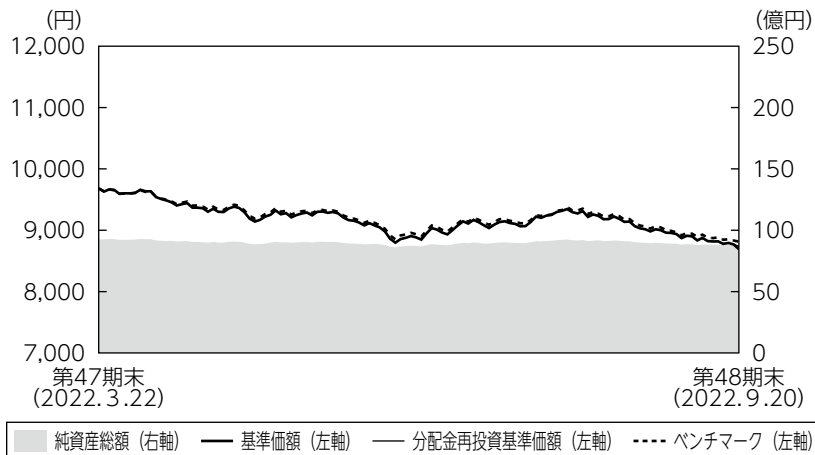
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2022年3月23日から2022年9月20日まで）

基準価額等の推移



第48期首： 9,682円
第48期末： 8,692円
(既払分配金50円)
騰落率： $\Delta 9.7\%$
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

F R B（米連邦準備理事会）をはじめとした海外の主要な中央銀行が金融緩和政策の解除を推し進め、投資国の国債利回りが上昇（価格は下落）したことを主因に基準価額は下落しました。

投資環境

債券市場では、ほぼ全ての投資国の国債利回りが上昇しました。新型コロナウイルス禍からの回復下における労働力や物流の供給制約、ロシアによるウクライナ侵攻を受けたエネルギーや穀物資源需給のタイト化などを受けて世界的な高インフレ環境が続いた中、ほぼ全ての投資国において金融引き締め動きが加速したことが主な要因となりました。

ポートフォリオについて

グローバル・ボンド・ポート（Cコース）は、グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドの組入比率を高位に維持することを基本に運用しました。また、対円で為替ヘッジを行い、為替リスクを低減しました。

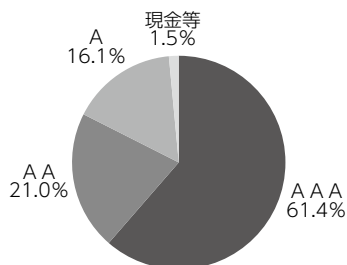
●グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド

デュレーション[※]は、中長期的な長期国債利回りの低下見通しに基づき、米国を中心にベンチマーク対比長期化戦略を継続しましたが、短中期的な債券市場の不透明感増大を受け漸次長期化幅を縮小しました。国別の投資配分については、スペインのベンチマーク比率に対するオーバーウェイトを縮小し、ドイツおよびベルギーの投資比率を引き上げました。また、英国のオーバーウェイトを解消しました。

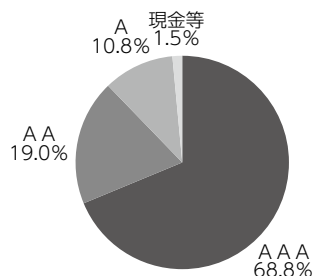
※金利変動に対する債券価格の変動性。

【グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドの運用状況】 ※比率は純資産総額に対する割合です。

○格付別構成比
期首（前期末）



期末



(注) 格付については、海外格付機関（S & PおよびMoody's）による上位のものを採用しています。また、+・-等の符号は省略し、S & Pの表記方法にあわせて表示しています。

○国別構成比
期首（前期末）

	ファンド	世界国債 インデックス	差
北米	米国	49.8%	1.7%
	カナダ	3.0%	1.0%
	計	52.8%	2.8%
中南米	メキシコ	0.0%	△0.7%
	計	0.0%	△0.7%
欧州	オーストリア	0.0%	△1.4%
	ベルギー	3.2%	0.9%
	フィンランド	0.0%	△0.6%
	フランス	9.8%	△0.0%
	ドイツ	6.6%	7.2%
	アイルランド	0.0%	△0.8%
	イタリア	0.0%	△8.7%
	オランダ	0.0%	△1.9%
	スペイン	13.9%	5.7%
	ユーロ計	33.4%	38.2%
	デンマーク	0.0%	△0.4%
	スウェーデン	0.0%	△0.3%
	英国	7.4%	5.5%
ポーランド	2.2%	0.5%	
ノルウェー	0.0%	△0.3%	
	計	43.1%	45.1%
アジア・ オセアニア	オーストラリア	2.6%	1.6%
	中国	0.0%	1.2%
	シンガポール	0.0%	0.4%
	マレーシア	0.0%	0.5%
	計	2.6%	3.7%
中東	イスラエル	0.0%	0.4%
	計	0.0%	0.4%
	現金など	1.5%	-
	合計	100.0%	100.0%

期末

	ファンド	世界国債 インデックス	差
北米	米国	57.0%	5.1%
	カナダ	3.1%	2.1%
	計	60.1%	53.9%
中南米	メキシコ	0.0%	0.8%
	計	0.0%	0.8%
欧州	オーストリア	0.0%	1.2%
	ベルギー	5.7%	1.9%
	フィンランド	0.0%	0.5%
	フランス	8.3%	8.7%
	ドイツ	7.8%	6.4%
	アイルランド	0.0%	0.7%
	イタリア	0.0%	7.5%
	オランダ	0.0%	1.6%
	スペイン	8.7%	5.1%
	ユーロ計	30.4%	33.5%
	デンマーク	0.0%	0.4%
	スウェーデン	0.0%	0.3%
	英国	4.4%	4.6%
ポーランド	2.1%	0.4%	
ノルウェー	0.0%	0.2%	
	計	37.0%	39.4%
アジア・ オセアニア	オーストラリア	1.5%	1.6%
	中国	0.0%	2.9%
	シンガポール	0.0%	0.4%
	マレーシア	0.0%	0.5%
	計	1.5%	5.5%
中東	イスラエル	0.0%	0.4%
	計	0.0%	0.4%
	現金など	1.5%	-
	合計	100.0%	100.0%

(注) 世界国債インデックスとは、FTSE世界国債インデックス（除く日本）です。

【グローバル・ボンド・ポート（Cコース）の通貨別構成比】

期首（前期末）

		通貨別組入状況			修正デュレーション		
		組入債券	為替予約・先物	計	ファンド	世界国債インデックス	差
北米	USドル	50.4%	△51.1%	△0.7%	8.0	6.9	1.1
	カナダ・ドル	3.1%	△3.1%	△0.1%	7.1	7.5	△0.4
中南米	メキシコ・ペソ	0.0%	0.0%	0.0%	—	5.1	—
欧州	イギリス・ポンド	7.5%	△7.6%	△0.1%	12.8	13.5	△0.7
	デンマーク・クローネ	0.0%	0.0%	0.0%	—	9.9	—
	ノルウェー・クローネ	0.0%	0.0%	0.0%	—	4.5	—
	ユーロ	33.9%	△34.5%	△0.6%	8.7	8.3	0.4
	スウェーデン・クローナ	0.0%	0.0%	0.0%	—	6.1	—
	ポーランド・ズロチ	2.2%	△2.2%	△0.0%	1.5	4.1	△2.6
アジア・オセアニア	オーストラリア・ドル	2.6%	△2.7%	△0.0%	10.9	7.5	3.4
	シンガポール・ドル	0.0%	0.0%	0.0%	—	8.1	—
	マレーシア・リンギット	0.0%	0.0%	0.0%	—	7.0	—
	中国元	0.0%	0.0%	0.0%	—	5.5	—
中東	イスラエル・シケル	0.0%	0.0%	0.0%	—	6.4	—
現金等		0.2%	—	—	—	—	—

(注1) 比率は純資産総額に対する実質的な割合です。

(注2) 修正デュレーションとは、債券価格の金利変動に対する感応度をあらわす一つの指標です。

(注3) 世界国債インデックスとは、F T S E世界国債インデックス（除く日本）です。

(注4) 現金等は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。



期末

		通貨別組入状況			修正デュレーション		
		組入債券	為替予約・先物	計	ファンド	世界国債インデックス	差
北米	USドル	59.5%	△60.5%	△1.1%	7.2	6.3	1.0
	カナダ・ドル	3.2%	△3.2%	0.0%	7.6	7.1	0.5
中南米	メキシコ・ペソ	0.0%	0.0%	0.0%	—	4.9	—
欧州	イギリス・ポンド	4.6%	△4.7%	△0.1%	10.8	11.5	△0.8
	デンマーク・クローネ	0.0%	0.0%	0.0%	—	8.5	—
	ノルウェー・クローネ	0.0%	0.0%	0.0%	—	4.7	—
	ユーロ	31.8%	△32.5%	△0.7%	7.0	7.6	△0.6
	スウェーデン・クローナ	0.0%	0.0%	0.0%	—	5.4	—
	ポーランド・ズロチ	2.2%	△2.2%	△0.1%	1.0	3.8	△2.8
アジア・オセアニア	オーストラリア・ドル	1.6%	△1.6%	△0.0%	10.2	7.1	3.1
	シンガポール・ドル	0.0%	0.0%	0.0%	—	7.8	—
	マレーシア・リンギット	0.0%	0.0%	0.0%	—	7.3	—
	中国元	0.0%	0.0%	0.0%	—	5.7	—
中東	イスラエル・シケル	0.0%	0.0%	0.0%	—	6.4	—
現金等		△2.9%	—	—	—	—	—

(注1) 比率は純資産総額に対する実質的な割合です。

(注2) 修正デュレーションとは、債券価格の金利変動に対する感応度をあらわす一つの指標です。

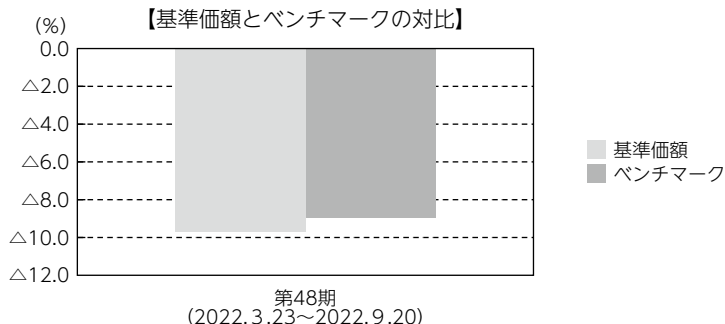
(注3) 世界国債インデックスとは、F T S E世界国債インデックス（除く日本）です。

(注4) 現金等は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前期末比で9.0%下落しました。

グローバル・ボンド・ポート（Cコース）はベンチマークを0.7%下回りました。組入各国の国債利回りの上昇が進む中で、米国や英国を中心にデュレーションを長期化していたことが主なマイナス要因となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2022年3月23日 ～2022年9月20日
当期分配金（税引前）	50円
対基準価額比率	0.57%
当期の収益	42円
当期の収益以外	7円
翌期繰越分配対象額	4,019円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

引き続き、グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドを高位に組入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。また、対円での為替ヘッジを行い、為替リスクの低減をめざします。

●グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド

金融市場の焦点は、高進するインフレ抑制を目的とするFRBの積極的な引き締めを受け、景気後退リスクへと移りつつあることから、今後は金融市場が先導する形で国債利回りが低下（価格上昇）へと転じると考えます。このことからデュレーションについては、米国を中心に、ベンチマーク対比長期化することを軸とした運営を継続します。国別金利リスク配分戦略では、ユーロ圏をアンダーウェイトとする一方、米国などをオーバーウェイトとする運営を維持します。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第48期		項目の概要
	(2022年3月23日 ～2022年9月20日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	43円	0.466%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,176円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(21)	(0.233)	
(販売会社)	(19)	(0.206)	
(受託会社)	(3)	(0.027)	
(b) その他費用	1	0.009	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	(1)	(0.007)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	44	0.475	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

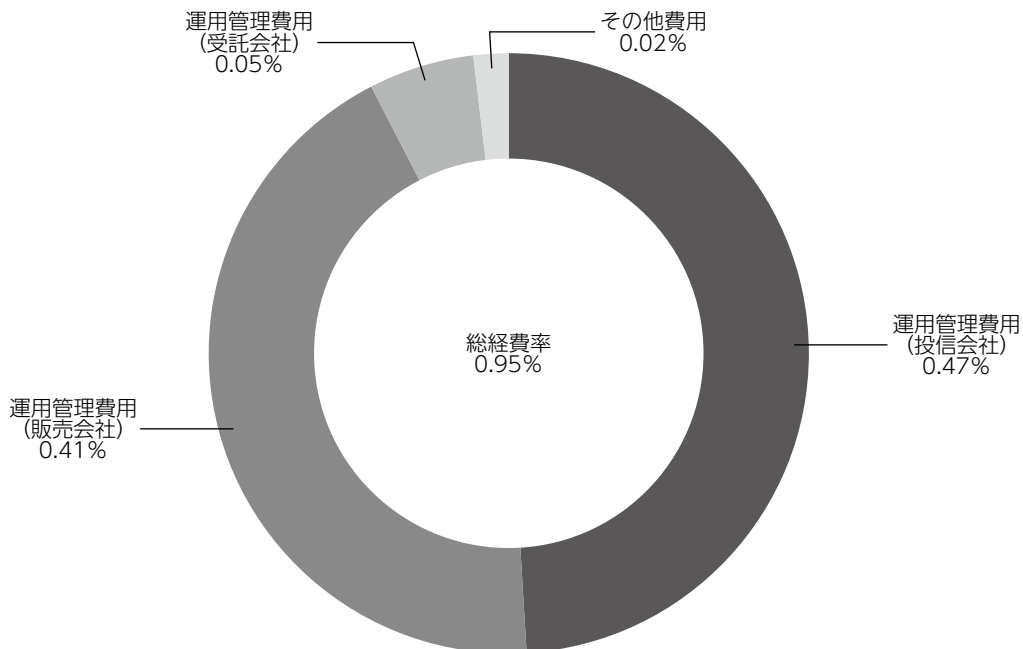
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.95%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2022年3月23日から2022年9月20日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	千口 304,862	千円 817,097	千口 558,069	千円 1,501,831

■利害関係人との取引状況等（2022年3月23日から2022年9月20日まで）

【グローバル・ボンド・ポート（Cコース）における利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当 期			期 末		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
金 銭 信 託	百万円 0.002	百万円 0.002	% 100.0	百万円 0.002	百万円 0.002	% 100.0

【グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当 期			期 末		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
金 銭 信 託	百万円 0.043	百万円 0.043	% 100.0	百万円 0.043	百万円 0.043	% 100.0

平均保有割合 31.6%

(注) 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ信託銀行です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

	期 首(前期末)	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	千口 3,595,456	千口 3,342,249	千円 9,099,609

■投資信託財産の構成

2022年9月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	9,099,609	98.6
コール・ローン等、その他	125,064	1.4
投資信託財産総額	9,224,673	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2022年9月20日現在、グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドは28,423,586千円、98.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年9月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=143.28円、1カナダ・ドル=108.14円、1オーストラリア・ドル=96.30円、1イギリス・ポンド=163.75円、1ポーランド・ズロチ=30.413円、1ユーロ=143.77円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年9月20日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	18,406,419,564円
コール・ローン等	28,040,508
グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド(評価額)	9,099,609,490
未 収 入 金	9,278,769,566
(B) 負 債	9,690,477,330
未 払 金	9,597,944,524
未 払 収 益 分 配 金	50,136,608
未 払 解 約 金	286,195
未 払 信 託 報 酬	41,947,718
そ の 他 未 払 費 用	162,285
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	8,715,942,234
元 本	10,027,321,654
次 期 繰 越 損 益 金	△1,311,379,420
(D) 受 益 権 総 口 数	10,027,321,654口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C/D)	8,692円

(注) 期首における元本額は9,559,097,488円、当期中における追加設定元本額は664,005,887円、同解約元本額は195,781,721円です。

■損益の状況

当期 自2022年3月23日 至2022年9月20日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△3,752円
受 取 利 息	115
支 払 利 息	△3,867
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△867,906,128
買 入 損 益	906,285,240
売 出 損 益	△1,774,191,368
(C) 信 託 報 酬 等	△42,115,943
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△910,025,823
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△732,587,526
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	381,370,537
(配 当 等 相 当 額)	(3,625,690,398)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△3,244,319,861)
(G) 合 計(D+E+F)	△1,261,242,812
(H) 収 益 分 配 金	△50,136,608
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	△1,311,379,420
追 加 信 託 差 損 益 金	381,370,537
(配 当 等 相 当 額)	(3,626,135,863)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△3,244,765,326)
分 配 準 備 積 立 金	404,598,439
繰 越 損 益 金	△2,097,348,396

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	42,953,270円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収 益 調 整 金	3,626,135,863
(d) 分 配 準 備 積 立 金	411,781,777
(e) 当 期 分 配 対 象 額(a+b+c+d)	4,080,870,910
(f) 1 万 口 当 たり 当 期 分 配 対 象 額	4,069.75
(g) 分 配 金	50,136,608
(h) 1 万 口 当 たり 分 配 金	50

■分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金

50円

※分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

Dコース（為替ヘッジなし）

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			F T S E 世界国債 インデックス		債券組入 比率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期 騰落率	(除く日本、 円ベース、 為替ヘッジなし) (ベンチマーク)	期 騰落率			
44期 (2020年9月23日)	円 11,963	円 100	% 2.9	ポイント 490.25	% 2.4	% 98.2	% -	百万円 12,189
45期 (2021年3月22日)	11,910	100	0.4	498.38	1.7	98.1	-	12,271
46期 (2021年9月21日)	11,944	100	1.1	506.63	1.7	98.0	-	12,471
47期 (2022年3月22日)	11,582	100	△2.2	502.80	△0.8	98.0	-	12,281
48期 (2022年9月20日)	11,929	100	3.9	529.19	5.2	98.5	-	12,789

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注4) ベンチマークはF T S E世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジなし）です（以下同じ）。

(注5) F T S E世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します（以下同じ）。

(注6) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		F T S E 世界国債インデックス (除く日本、 円ベース、 為替ヘッジなし) (ベンチマーク)		債券組入 比 率	債券先物 比 率
	円	騰 落 率 %	ポイント	騰 落 率 %		
(期 首) 2022 年 3 月 22 日	11,582	—	502.80	—	98.0	—
3 月 末	11,796	1.8	514.01	2.2	97.5	—
4 月 末	11,819	2.0	514.17	2.3	97.2	—
5 月 末	11,757	1.5	512.00	1.8	96.9	—
6 月 末	12,006	3.7	527.33	4.9	98.2	—
7 月 末	12,134	4.8	528.62	5.1	97.9	—
8 月 末	11,937	3.1	523.32	4.1	97.3	—
(期 末) 2022 年 9 月 20 日	12,029	3.9	529.19	5.2	98.5	—

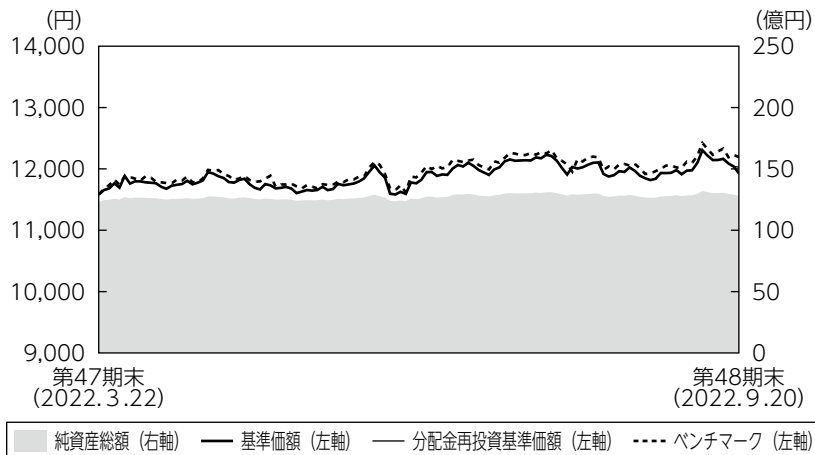
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2022年3月23日から2022年9月20日まで）

基準価額等の推移



第48期首： 11,582円
第48期末： 11,929円
(既払分配金100円)
騰落率： 3.9%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

F R B（米連邦準備理事会）をはじめとした海外の主要な中央銀行が金融緩和政策の解除を推し進め、投資国の国債利回りが上昇（価格は下落）したことは基準価額のマイナス要因となった一方、日本銀行が緩和的な金融政策を堅持し、内外の金融政策格差の拡大から主要通貨に対して大きく円安が進行したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

投資環境

債券市場では、ほぼ全ての投資国の国債利回りが上昇しました。新型コロナウイルス禍からの回復下における労働力や物流の供給制約、ロシアによるウクライナ侵攻を受けたエネルギーや穀物資源需給のタイト化などを受けて世界的な高インフレ環境が続いた中、ほぼ全ての投資国において金融引き締め動きが加速したことが主な要因となりました。

為替市場では、米ドルをはじめ多くの通貨に対して円安が大きく進行しました。日本銀行が緩和的な金融政策を堅持する中、海外の主要な中央銀行による金融引き締めの流れを受け、内外の金融政策格差が強く意識されたことが主な要因となりました。主要通貨の中では米ドルの選好が進みました。主要先進国の中での利回り水準の高さや、欧州や中国などその他の主要経済圏における景気の悲観的な見通しなどが主な要因となりました。

ポートフォリオについて

グローバル・ボンド・ポート（Dコース）は、グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドの組入比率を高位に維持することを基本に運用しました。また、為替予約取引を用いて、機動的に為替リスクを調整する運用を行いました。通貨配分については、米国の金融引き締め動きの進展からベンチマーク比率に対する米ドルのオーバーウェイト、ECB（欧州中央銀行）の相対的な金融引き締め遅れや、欧州経済の先行き不安からユーロのアンダーウェイトを中心とした運営を実施しました。

●グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド

デュレーション[※]は、中長期的な長期国債利回りの低下見通しに基づき、米国を中心にベンチマーク対比長期化戦略を継続しましたが、短中期的な債券市場の不透明感増大を受け漸次長期化幅を縮小しました。国別の投資配分については、スペインのベンチマーク比率に対するオーバーウェイトを縮小し、ドイツおよびベルギーの投資比率を引き上げました。また、英国のオーバーウェイトを解消しました。

[※]金利変動に対する債券価格の変動性。

マザーファンドの運用状況については、5ページをご参照ください。

【グローバル・ボンド・ポート（Dコース）の通貨別構成比】

期首（前期末）

		通貨別組入状況			修正デュレーション		
		組入債券	為替予約・先物	計	ファンド	世界国債インデックス	差
北米	USドル	49.5%	△0.9%	48.6%	8.0	6.9	1.1
	カナダ・ドル	3.0%	△1.0%	2.0%	7.1	7.5	△0.4
中南米	メキシコ・ペソ	0.0%	0.0%	0.0%	—	5.1	—
欧州	イギリス・ポンド	7.4%	△2.0%	5.4%	12.8	13.5	△0.7
	デンマーク・クローネ	0.0%	0.4%	0.4%	—	9.9	—
	ノルウェー・クローネ	0.0%	0.3%	0.3%	—	4.5	—
	ユーロ	33.3%	△4.1%	29.2%	8.7	8.3	0.4
	スウェーデン・クローナ	0.0%	0.3%	0.3%	—	6.1	—
	ポーランド・ズロチ	2.2%	△1.0%	1.2%	1.5	4.1	△2.6
アジア・オセアニア	オーストラリア・ドル	2.6%	3.0%	5.6%	10.9	7.5	3.4
	シンガポール・ドル	0.0%	0.0%	4.6%	—	8.1	—
	マレーシア・リンギット	0.0%	0.0%	0.0%	—	7.0	—
	中国元	0.0%	0.0%	0.0%	—	5.5	—
中東	イスラエル・シケル	0.0%	0.4%	0.4%	—	6.4	—
現金等		2.0%	—	—	—	—	—

(注1) 比率は純資産総額に対する実質的な割合です。

(注2) 修正デュレーションとは、債券価格の金利変動に対する感応度をあらわす一つの指標です。

(注3) 世界国債インデックスとは、FTSE世界国債インデックス（除く日本）です。

(注4) 現金等は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。



期末

		通貨別組入状況			修正デュレーション		
		組入債券	為替予約・先物	計	ファンド	世界国債インデックス	差
北米	USドル	56.9%	△0.0%	56.9%	7.2	6.3	1.0
	カナダ・ドル	3.1%	△1.0%	2.1%	7.6	7.1	0.5
中南米	メキシコ・ペソ	0.0%	0.0%	0.0%	—	4.9	—
欧州	イギリス・ポンド	4.4%	△0.1%	4.3%	10.8	11.5	△0.8
	デンマーク・クローネ	0.0%	0.4%	0.4%	—	8.5	—
	ノルウェー・クローネ	0.0%	0.2%	0.2%	—	4.7	—
	ユーロ	30.4%	△2.9%	27.6%	7.0	7.6	△0.6
	スウェーデン・クローナ	0.0%	0.3%	0.3%	—	5.4	—
	ポーランド・ズロチ	2.1%	△0.9%	1.2%	1.0	3.8	△2.8
アジア・オセアニア	オーストラリア・ドル	1.5%	0.0%	1.5%	10.2	7.1	3.1
	シンガポール・ドル	0.0%	0.4%	0.4%	—	7.8	—
	マレーシア・リンギット	0.0%	0.0%	0.0%	—	7.3	—
	中国元	0.0%	0.0%	0.0%	—	5.7	—
	オフショア・人民元	0.0%	2.9%	2.9%	—	—	—
中東	イスラエル・シケル	0.0%	0.4%	0.4%	—	6.4	—
現金等		1.5%	—	—	—	—	—

(注1) 比率は純資産総額に対する実質的な割合です。

(注2) 修正デュレーションとは、債券価格の金利変動に対する感応度をあらわす一つの指標です。

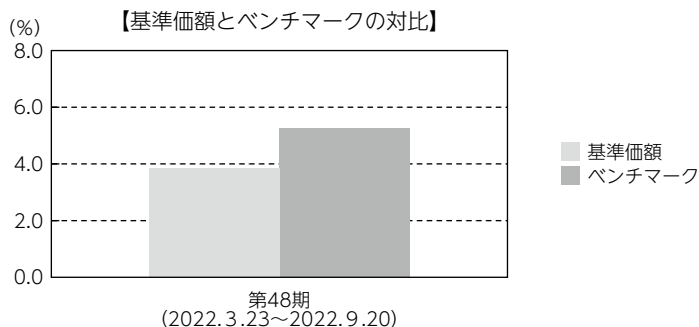
(注3) 世界国債インデックスとは、FTSE世界国債インデックス（除く日本）です。

(注4) 現金等は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前期末比で5.2%上昇しました。

グローバル・ボンド・ポート（Dコース）はベンチマークを1.4%下回りました。組入各国の国債利回りの上昇が進む中で、米国や英国を中心にデュレーションを長期化していたことが主なマイナス要因となりました。通貨配分については、ベンチマーク比率に対する米ドルのオーバーウェイトやユーロのアンダーウェイトを主因にプラスに寄与しました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2022年3月23日 ～2022年9月20日
当期分配金（税引前）	100円
対基準価額比率	0.83%
当期の収益	98円
当期の収益以外	1円
翌期繰越分配対象額	4,828円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドを高位に組入れることにより、債券部分の実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。また、為替予約取引を用いて、機動的に通貨配分比率を調整する方針です。

マザーファンドの今後の運用方針については、7ページをご参照ください。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第48期		項目の概要
	(2022年3月23日 ～2022年9月20日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	55円	0.466%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,888円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(28)	(0.233)	
(販売会社)	(24)	(0.206)	
(受託会社)	(3)	(0.027)	
(b) その他費用	2	0.018	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	(1)	(0.008)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(1)	(0.008)	
合計	58	0.484	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

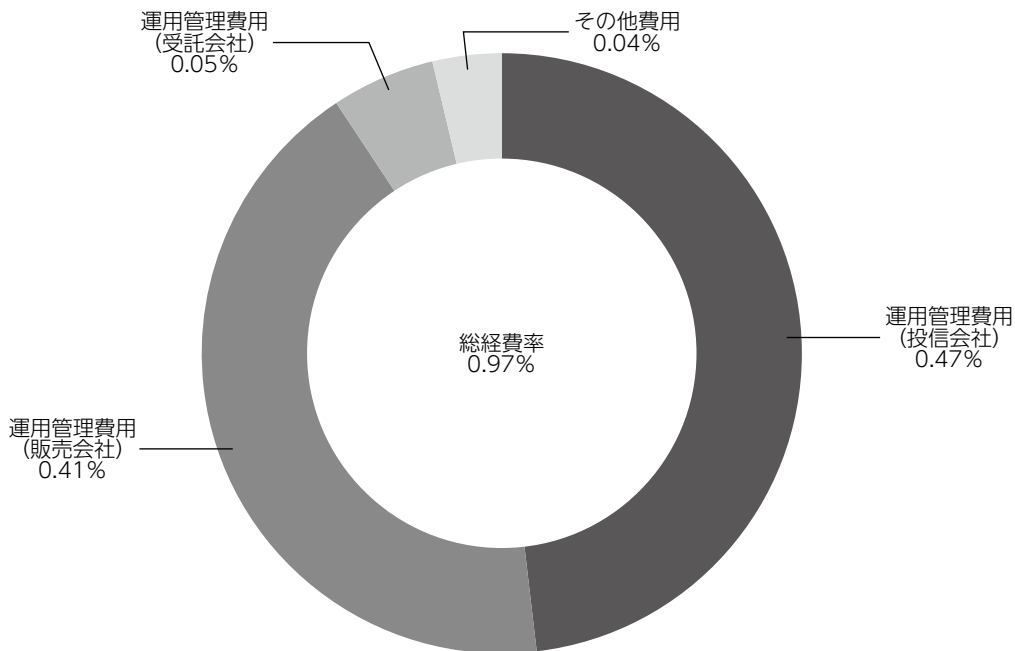
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.97%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2022年3月23日から2022年9月20日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	千□ 344,749	千円 922,479	千□ 336,252	千円 903,576

■利害関係人との取引状況等（2022年3月23日から2022年9月20日まで）

【グローバル・ボンド・ポート（Dコース）における利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
金 銭 信 託	百万円 0.004	百万円 0.004	% 100.0	百万円 0.004	百万円 0.004	% 100.0

【グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
金 銭 信 託	百万円 0.043	百万円 0.043	% 100.0	百万円 0.043	百万円 0.043	% 100.0

平均保有割合 44.4%

(注) 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ信託銀行です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

	期 首(前期末)	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	千□ 4,685,640	千□ 4,694,137	千円 12,780,258

■投資信託財産の構成

2022年9月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	12,780,258	97.8
コール・ローン等、その他	288,989	2.2
投資信託財産総額	13,069,247	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2022年9月20日現在、グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドは28,423,586千円、98.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年9月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=143.28円、1カナダ・ドル=108.14円、1オーストラリア・ドル=96.30円、1イギリス・ポンド=163.75円、1ポーランド・ズロチ=30.413円、1ユーロ=143.77円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年9月20日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	24,170,120,120円
コール・ローン等	39,619,087
グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド(評価額)	12,780,258,286
未 収 入 金	11,350,242,747
(B) 負 債	11,380,294,945
未 払 金	11,201,005,853
未 払 収 益 分 配 金	107,212,444
未 払 解 約 金	12,506,176
未 払 信 託 報 酬	59,340,874
そ の 他 未 払 費 用	229,598
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	12,789,825,175
元 本	10,721,244,409
次 期 繰 越 損 益 金	2,068,580,766
(D) 受 益 権 総 口 数	10,721,244,409口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C/D)	11,929円

(注) 期首における元本額は10,604,290,043円、当期中における追加設定元本額は697,165,667円、同解約元本額は580,211,301円です。

■損益の状況

当期 自2022年3月23日 至2022年9月20日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△4,902円
受 取 利 息	236
支 払 利 息	△5,138
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	521,437,948
買 入 益	1,275,518,427
売 出 損	△754,080,479
(C) 信 託 報 酬 等	△60,707,979
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	460,725,067
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△35,534,332
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,750,602,475
(配 当 等 相 当 額)	(4,666,989,250)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,916,386,775)
(G) 合 計(D+E+F)	2,175,793,210
(H) 収 益 分 配 金	△107,212,444
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	2,068,580,766
追 加 信 託 差 損 益 金	1,750,602,475
(配 当 等 相 当 額)	(4,667,613,795)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,917,011,320)
分 配 準 備 積 立 金	509,440,928
繰 越 損 益 金	△191,462,637

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	105,884,382円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収 益 調 整 金	4,667,613,795
(d) 分 配 準 備 積 立 金	510,768,990
(e) 当 期 分 配 対 象 額(a+b+c+d)	5,284,267,167
(f) 1 万 口 当 たり 当 期 分 配 対 象 額	4,928.78
(g) 分 配 金	107,212,444
(h) 1 万 口 当 たり 分 配 金	100

■分配金のお知らせ

1万口当たり分配金

100円

※分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド

運用報告書

第50期（決算日 2022年9月20日）

（計算期間 2022年3月23日～2022年9月20日）

グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドの第50期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	1997年10月16日から無期限です。
運用方針	信託財産の成長をはかることを目標に運用を行います。
主要投資対象	わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資には、制限を設けません。 株式への投資は、転換社債の転換、新株予約権の行使および社債権者割当等により取得するものに限ります。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース、為替ヘッジなし) (ベンチマーク)		債券組入比率	債券先物比率	純資産額
	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率			
	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
46期 (2020年9月23日)	25,740	3.5	490.25	2.4	98.3	—	28,951
47期 (2021年3月22日)	25,869	0.5	498.38	1.7	98.5	—	28,731
48期 (2021年9月21日)	26,478	2.4	506.63	1.7	98.5	—	29,241
49期 (2022年3月22日)	26,085	△1.5	502.80	△0.8	98.5	—	28,432
50期 (2022年9月20日)	27,226	4.4	529.19	5.2	98.5	—	28,661

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) ベンチマークはFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジなし）です（以下同じ）。

(注3) FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っていません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します（以下同じ）。

(注4) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

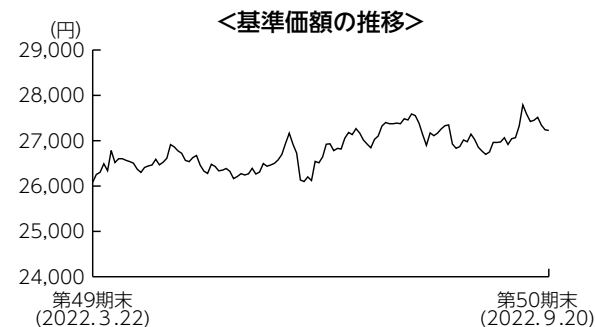
■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		F T S E世界国債インデックス (除く日本、 円ベース、 為替ヘッジなし) (ベンチマーク)		債券組入 比	債券先物 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2022 年 3 月 22 日	円 26,085	% -	ポイント 502.80	% -	% 98.5	% -
3 月 末	26,603	2.0	514.01	2.2	97.7	-
4 月 末	26,628	2.1	514.17	2.3	97.5	-
5 月 末	26,497	1.6	512.00	1.8	97.1	-
6 月 末	27,057	3.7	527.33	4.9	98.3	-
7 月 末	27,385	5.0	528.62	5.1	97.9	-
8 月 末	26,973	3.4	523.32	4.1	97.3	-
(期 末) 2022 年 9 月 20 日	27,226	4.4	529.19	5.2	98.5	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2022年3月23日から2022年9月20日まで）

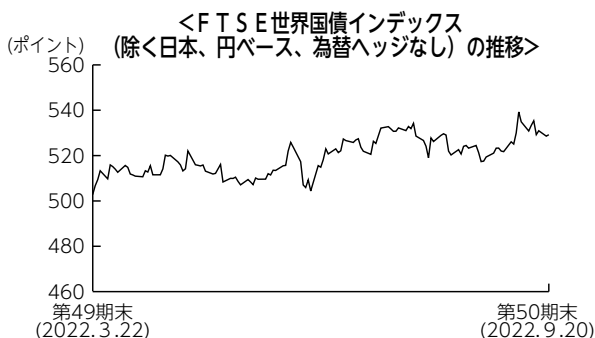


基準価額の推移

当期末の基準価額は27,226円となり、前期末比で4.4%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

F R B（米連邦準備理事会）をはじめとした海外の主要な中央銀行が金融緩和政策の解除を推し進め、組入各国の国債利回りが上昇（価格は下落）したことは基準価額のマイナス要因となった一方、日本銀行が緩和的な金融政策を堅持し、内外の金融政策格差の拡大から主要通貨に対して大きく円安が進行したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。



投資環境

債券市場では、ほぼ全ての投資国の国債利回りが上昇しました。新型コロナウイルス禍からの回復下における労働力や物流の供給制約、ロシアによるウクライナ侵攻を受けたエネルギーや穀物資源需給のタイト化などを受けて世界的な高インフレ環境が続いた中、ほぼ全ての投資国において金融引き締め動きが加速したことが主な要因となりました。

為替市場では、米ドルをはじめ多くの通貨に対して円安が大きく進行しました。日本銀行が緩和的な金融政策を堅持する中、海外の主要な中央銀行による金融引き締めの流れを受け、内外の金融政策格差が強く意識されたことが主な要因となりました。主要通貨の中では米ドルの選好が進みました。主要先進国の中での利回り水準の高さや、欧州や中国などその他の主要経済圏における景気の悲観的な見通しなどが主な要因となりました。

ポートフォリオについて

デュレーション*は、中長期的な長期国債利回りの低下見通しに基づき、米国を中心にベンチマーク対比長期化戦略を継続しましたが、短中期的な債券市場の不透明感増大を受け漸次長期化幅を縮小しました。国別の投資配分については、スペインのベンチマーク比率に対するオーバーウェイトを縮小し、ドイツおよびベルギーの投資比率を引き上げました。また、英国のオーバーウェイトを解消しました。

*金利変動に対する債券価格の変動性。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前期末比で5.2%上昇しました。

当ファンドはベンチマークを0.9%下回りました。組入各国の国債利回りの上昇が進む中で、米国や英国を中心にデュレーションを長期化していたことが主なマイナス要因となりました。

今後の運用方針

金融市場の焦点は、高進するインフレ抑制を目的とするF R Bの積極的な引き締めを受け、景気後退リスクへと移りつつあることから、今後は金融市場が先導する形で国債利回りが低下（価格上昇）へと転じると考えます。このことからデュレーションについては、米国を中心に、ベンチマーク対比長期化することを軸とした運営を継続します。国別金利リスク配分戦略では、ユーロ圏をアンダーウェイトとする一方、米国などをオーバーウェイトとする運営を維持します。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	2円	0.007%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(そ の 他)	(2)	(0.007)	
合 計	(0)	(0.000)	
	2	0.007	
期中の平均基準価額は26,813円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況 (2022年3月23日から2022年9月20日まで)

公社債

			買付額	売付額
外	アメリカ	国債証券	千アメリカ・ドル 50,153	千アメリカ・ドル 44,550 (-)
	カナダ	国債証券	千カナダ・ドル 572	千カナダ・ドル 904 (-)
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリア・ドル 20	千オーストラリア・ドル 3,123 (-)
	イギリス	国債証券	千イギリス・ポンド 1,000	千イギリス・ポンド 4,583 (-)
	ポーランド	国債証券	千ポーランド・ズロチ -	千ポーランド・ズロチ 2,384 (-)
国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ベルギー	国債証券	5,855	- (-)
	フランス	国債証券	9,808	12,414 (-)
	ドイツ	国債証券	6,963	3,995 (-)
円	スペイン	国債証券	-	9,825 (-)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等 (2022年3月23日から2022年9月20日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決算期	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
金銭信託	百万円 0.043	百万円 0.043	% 100.0	百万円 0.043	百万円 0.043	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ信託銀行です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うち B B 格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ア メ リ カ	千アメリカ・ドル 131,610	千アメリカ・ドル 113,987	千円 16,332,132	% 57.0	% -	% 36.5	% 19.7	% 0.8
カ ナ ダ	千カナダ・ドル 9,170	千カナダ・ドル 8,184	千円 885,018	3.1	-	3.1	-	-
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 5,690	千オーストラリア・ドル 4,491	千円 432,494	1.5	-	1.5	-	-
イ ギ リ ス	千イギリス・ポンド 7,860	千イギリス・ポンド 7,753	千円 1,269,621	4.4	-	3.3	-	1.2
ポ ー ラ ン ド	千ポーランド・ズロチ 20,140	千ポーランド・ズロチ 19,554	千円 594,741	2.1	-	-	-	2.1
ユ ー ロ	千ユーロ	千ユーロ	千円					
ベルギー	11,328	11,391	1,637,749	5.7	-	3.2	1.0	1.6
フ ラ ン ス	17,820	16,483	2,369,820	8.3	-	6.8	-	1.4
ド イ ツ	14,705	15,522	2,231,715	7.8	-	4.5	0.5	2.8
ス ペ イ ン	17,295	17,298	2,486,933	8.7	-	6.5	2.1	-
合 計	-	-	千円 28,240,229	98.5	-	65.4	23.3	9.8

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示
外国（外貨建）公社債銘柄別

銘柄	種 類	利 率	額 面 金 額	期 間		償 還 年 月 日
				評 価 額		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)		%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
US T N/B 2.0 02/15/50	国債証券	2.0000	18,040	13,052	1,870,223	2050/02/15
US T N/B 1.125 05/15/40	国債証券	1.1250	10,300	6,745	966,523	2040/05/15
US T N/B 2.375 05/15/29	国債証券	2.3750	7,210	6,669	955,650	2029/05/15
US T N/B 1.625 05/15/31	国債証券	1.6250	33,580	28,936	4,146,023	2031/05/15
US T N/B 2.875 05/15/32	国債証券	2.8750	870	825	118,318	2032/05/15
US T N/B 2.0 08/15/25	国債証券	2.0000	16,560	15,691	2,248,334	2025/08/15
US T N/B 1.5 08/15/26	国債証券	1.5000	16,400	15,021	2,152,262	2026/08/15
US T N/B 0.125 10/15/23	国債証券	0.1250	1,640	1,572	225,359	2023/10/15
US T N/B 2.25 11/15/24	国債証券	2.2500	9,100	8,780	1,258,009	2024/11/15
US T N/B 2.25 11/15/27	国債証券	2.2500	17,910	16,690	2,391,426	2027/11/15
小 計	—	—	131,610	113,987	16,332,132	—
(カナダ)		%	千カナダ・ドル	千カナダ・ドル	千円	
CANADA 2.25 06/01/29	国債証券	2.2500	3,400	3,211	347,268	2029/06/01
CANADA 1.25 06/01/30	国債証券	1.2500	5,140	4,470	483,420	2030/06/01
CANADA 2.0 12/01/51	国債証券	2.0000	630	502	54,329	2051/12/01
小 計	—	—	9,170	8,184	885,018	—
(オーストラリア)		%	千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル	千円	
AUSTRALIAN 1.75 06/21/51	国債証券	1.7500	1,990	1,231	118,584	2051/06/21
AUSTRALIAN 2.75 11/21/27	国債証券	2.7500	1,500	1,446	139,285	2027/11/21
QUEENSLAND TREASURY CORP 1.75 08/21/31	特殊債券	1.7500	2,200	1,813	174,623	2031/08/21
小 計	—	—	5,690	4,491	432,494	—
(イギリス)		%	千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド	千円	
UK TREASURY 3.25 01/22/44	国債証券	3.2500	2,440	2,324	380,571	2044/01/22
UK TREASURY 0.125 01/31/24	国債証券	0.1250	2,130	2,044	334,711	2024/01/31
UK TREASURY 0.875 10/22/29	国債証券	0.8750	1,500	1,290	211,313	2029/10/22
UK TREASURY 4.75 12/07/38	国債証券	4.7500	200	232	38,094	2038/12/07
UK TREASURY 4.25 12/07/55	国債証券	4.2500	1,590	1,862	304,931	2055/12/07
小 計	—	—	7,860	7,753	1,269,621	—
(ポーランド)		%	千ポーランド・ズロチ	千ポーランド・ズロチ	千円	
POLAND 4.0 10/25/23	国債証券	4.0000	20,140	19,554	594,741	2023/10/25
小 計	—	—	20,140	19,554	594,741	—
(ユーロ…ベルギー)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
BELGIUM 4.0 03/28/32	国債証券	4.0000	500	574	82,546	2032/03/28
BELGIUM 1.7 06/22/50	国債証券	1.7000	1,100	882	126,812	2050/06/22
BELGIUM 2.6 06/22/24	国債証券	2.6000	3,100	3,149	452,784	2024/06/22
BELGIUM 3.0 06/22/34	国債証券	3.0000	4,628	4,862	699,141	2034/06/22
BELGIUM 0.8 06/22/25	国債証券	0.8000	1,000	975	140,184	2025/06/22
BELGIUM 0.8 06/22/27	国債証券	0.8000	1,000	947	136,279	2027/06/22
小 計	—	—	11,328	11,391	1,637,749	—
(ユーロ…フランス)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
FRANCE OAT 03/25/24	国債証券	0.0000	2,950	2,880	414,183	2024/03/25

銘 柄	当			期		末
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(ユーロ…フランス)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
FRANCE OAT 2.0 05/25/48	国債証券	2.0000	1,550	1,368	196,731	2048/05/25
FRANCE OAT 0.5 05/25/29	国債証券	0.5000	850	769	110,609	2029/05/25
FRANCE OAT 2.75 10/25/27	国債証券	2.7500	5,670	5,888	846,519	2027/10/25
FRANCE OAT 0.0 11/25/31	国債証券	0.0000	6,800	5,576	801,776	2031/11/25
小 計	—	—	17,820	16,483	2,369,820	—
(ユーロ…ドイツ)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
BUNDESOBL 0.0 04/16/27	国債証券	0.0000	1,000	928	133,448	2027/04/16
DEUTSCHLAND 4.25 07/04/39	国債証券	4.2500	4,090	5,478	787,687	2039/07/04
DEUTSCHLAND 08/15/29	国債証券	0.0000	4,020	3,589	516,090	2029/08/15
BUNDESSCHAT 0.0 09/15/23	国債証券	0.0000	5,595	5,526	794,490	2023/09/15
小 計	—	—	14,705	15,522	2,231,715	—
(ユーロ…スペイン)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
SPAIN 1.95 04/30/26	国債証券	1.9500	1,700	1,689	242,943	2026/04/30
SPAIN 4.7 07/30/41	国債証券	4.7000	2,520	3,049	438,430	2041/07/30
SPAIN 2.35 07/30/33	国債証券	2.3500	6,050	5,683	817,185	2033/07/30
SPAIN 2.75 10/31/24	国債証券	2.7500	2,055	2,093	300,985	2024/10/31
SPAIN 2.15 10/31/25	国債証券	2.1500	470	472	67,868	2025/10/31
SPAIN 1.45 10/31/27	国債証券	1.4500	4,500	4,309	619,521	2027/10/31
小 計	—	—	17,295	17,298	2,486,933	—
合 計	—	—	—	—	28,240,229	—

■投資信託財産の構成

2022年9月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	28,240,229	97.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	703,045	2.4
投 資 信 託 財 産 総 額	28,943,274	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 当期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、28,423,586千円、98.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年9月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=143.28円、1カナダ・ドル=108.14円、1オーストラリア・ドル=96.30円、1イギリス・ポンド=163.75円、1ポーランド・ズロチ=30.413円、1ユーロ=143.77円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年9月20日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	28,943,274,260円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	521,591,946
公 社 債(評価額)	28,240,229,244
未 収 利 息	168,151,824
前 払 費 用	13,301,246
(B) 負 債	281,994,000
未 払 解 約 金	281,994,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	28,661,280,260
元 本	10,527,197,002
次 期 繰 越 損 益 金	18,134,083,258
(D) 受 益 権 総 口 数	10,527,197,002口
1万口当たり基準価額(C/D)	27,226円

(注1) 期首元本額 10,899,939,696円

追加設定元本額 671,811,276円

一部解約元本額 1,044,553,970円

(注2) 期末における元本の内訳
グローバル・ボンド・ポート (Cコース) 3,342,249,868円

グローバル・ボンド・ポート (Dコース) 4,694,137,327円

グローバル・ボンド・ポート毎月決算コース (為替ヘッジなし) 1,402,563,624円

DIAMグローバル・ボンド・ポート毎月決算コース2 1,036,894,034円

DIAMグローバル・ボンド・ポートVA (ヘッジなし) 51,352,149円

期末元本合計 10,527,197,002円

■損益の状況

当期 自2022年3月23日 至2022年9月20日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	283,414,644円
受 取 利 息	283,481,116
支 払 利 息	△66,472
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	957,451,853
売 買 益	3,917,433,907
売 買 損	△2,959,982,054
(C) そ の 他 費 用	△2,053,389
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	1,238,813,108
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	17,532,824,456
(F) 解 約 差 損 益 金	△1,764,588,030
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,127,033,724
(H) 合 計(D+E+F+G)	18,134,083,258
次 期 繰 越 損 益 金(H)	18,134,083,258

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。